

# 学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル 「～学校の新しい生活様式～」の改訂について (2020.12.3 Ver.5より抜粋)

- 1 学校における新型コロナウイルス感染症対策の考え方
- 中学生・高校生については、例えばマスクを着用しないで行う感染リスクの高い活動を一時的に制限するなど **生徒の発達段階に合わせた柔軟な対応を検討する【変更】**
  - 学校関係者に感染が確認された場合には、感染者や濃厚接触者である児童生徒等が、**差別・偏見・いじめ・誹謗中傷などの対象にならぬよう**、差別・偏見等の防止に向けた取組を進める。**【要指導】**



- 2 学校における基本的な新型コロナウイルス感染症対策【冬季対応】
- 手洗いなどの基本的な感染症対策を徹底
  - 可能な限り常時換気

- 3 普段の清掃・消毒のポイント【確認】  
児童が下校時に机を清掃している様子



4 「密閉」の回避（換気の徹底）【冬季対応】

- ① 常時換気の方法
  - **廊下側と窓側を対角に開ける。**
  - **窓を開ける幅は10cmから20cm程度を目安**とし、上の小窓や廊下側の欄間を全開にする。また、廊下の窓も開けることも必要。
- ② 常時換気が困難な場合  
**こまめに（30分に1回以上）数分間程度、窓を全開**にする。
- ③ 換気設備の活用と留意点  
**換気扇等がある場合には、常時運転。**
- ④ 冬季における換気の留意点  
徹底して換気に取り組むことが必要。気候上可能な限り、**常時換気**に努める。
  - 室温低下による健康被害の防止  
児童生徒等に**暖かい服装を心がけるよう指導**。また、**二段階換気も有効**。
  - 機器による二酸化炭素濃度の計測  
CO2モニターにより二酸化炭素濃度を計測可能。学校環境衛生基準は**1500ppmを基準**

5 「密接」の場面への対応(マスクの着用)【要指導】

体育の授業においては、マスクの着用は必要ないが、十分な身体的距離がとれない状況で、**十分な呼吸ができなくなるリスクや熱中症になるリスクがない場合には、マスクを着用**する。

6 健康診断【確認】

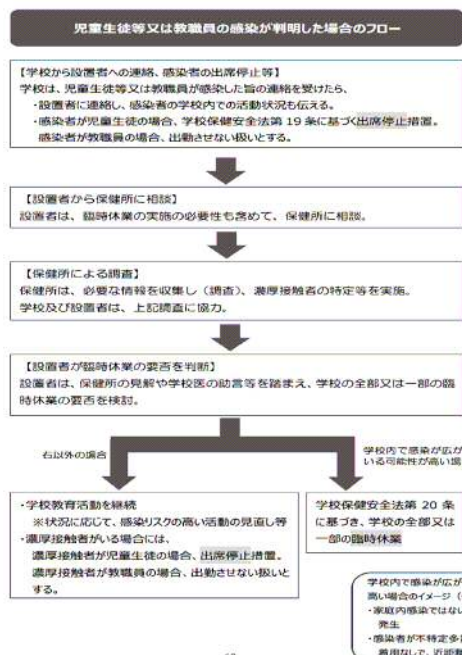
健康診断をまだ実施していない学校は、学校医等と相談し、感染防止に配慮した上で、**令和2年度末日までに実施**する。

7 衛生主管部局との連携による地域の感染状況の把握【確認】

「学校等欠席者・感染症情報システム」は、地域の感染症の発生状況をリアルタイムに把握し、関係機関が情報を共有できるシステムで、早期の感染症対策に役立てることができる。

- 【メリット】
- ① 早期探知
  - ② 情報共有
  - ③ 省力化
  - ④ データ活用

8 学校で感染者が発生した場合の臨時休業について【確認】



# Go! Go! GIGAスクール!

授業のためのICTから  
学習のためのICTへ



OHP, 大型モニタ, 書画カメラ……。これまでは主に教師が使う様々な機器が導入されてきました。これからは、教師も子供も「1人1台情報端末」。子供たちが主体的に使う情報機器が導入されます。

一方向から双方向へ、教室のみから外部へ。GIGA スクールの始まりは未来へとつながる学習の始まりです。明るい未来を創るためには、学習が変わらなければなりません。

まずは、教師が積極的に、有効的に活用することが未来への第一歩です!

## 主な学習内容・活動

### 1 学習課題をつかむ。

この図から分かることは、どんなことだろうか。

- ・ 黒板に貼ってある大きな図で考える。
- ・ 見つけたことを自由に発表する。

この文章から分かることは、どんなことだろうか。

### 2 学習のめあてを話し合う。

文章に合う図を見つけるには、どうすればよだろうか。

### 3 自分の考えた「文と図が合っているところ」をワークシートに表す。

- (1) 文章をいくつかあるか考え、番号を付ける。(2つ)
- (2) 合っていると思うところを1つの文ごとに探す。  
 線でつなぐ  
 同じ印をつける。等
- (3) そう思う理由(根拠)を書く。

### 4 自分の考えを近くの友達と交流する。(ペア・斜め)

### 5 全体で話し合い、理由(根拠)を基に、どの図が適切であるかを考える。

- 自分の考えと比べながら聞く。
- 分からないことや疑問は、質問する。
- どの図が正解と言えるか考える。

- どんなことに気を付けると文章と図を合わせることができたか発表する。

### 6 まとめをする。

文章に合う図を見つけるには、まず、文章を1つずつの文に分け、それぞれよく読み、どの量が1になるのか考える。(または、短くなるのか長くなるのかで判断する。)

### 7 練習問題をする。

- ・ 類似問題 (A)
- ・ 学テ問題 [応用] (B)

### 8 振り返りをする。

## 本年度コアティーチャーネットワークプロジェクトで作成された算数科の授業展開例をもとに活用例を考えてみました。

☆ 図を子供たちに送信し、タブレット上で確認させる。

☆ タブレット上のカードに記入して、教師に送信する。

☆ 大型ディスプレイに拡大表示されたカードを見せながら発表する。



☆ 教師から一斉送信されたワークシートに子供たちはタブレット上で書き込み、教師に送信する。



☆ 子供たちは互いに自分のタブレットを見せながら、考えを交流させる。



★ 教師は子供たちから送信されたワークシート进行分类する。

★ 全体で大型ディスプレイに表示されたワークシートを確認しながら児童に考えを深めさせる。



☆ 子供たちはプレゼンテーションを作成し、操作しながら発表する。



☆ 教師から一斉送信されたフォーム作成ツールで作成した練習問題に取り組む。



★ フォーム作成ツールのテスト機能を活用して、採点、確認する。



さあ! 学習の充実を目指して、積極的に情報機器を活用しましょう!

